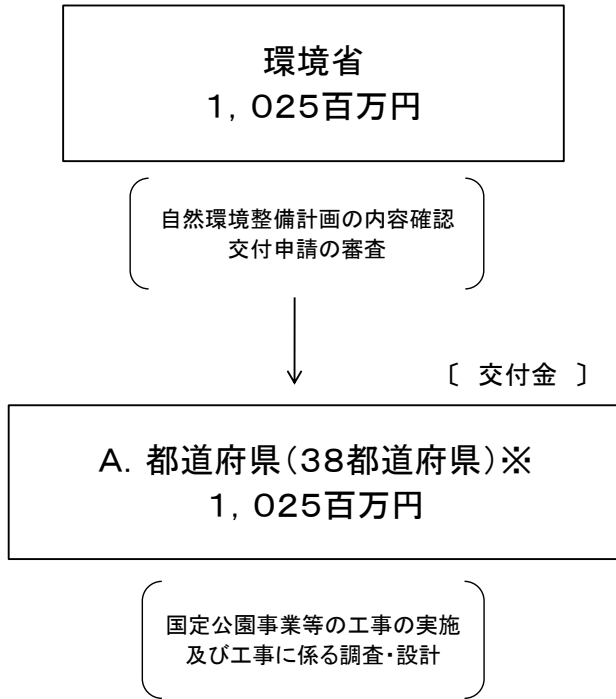


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	自然公園等事業 (うち自然環境整備交付金)	担当部局庁	自然環境局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度	担当課室	自然環境整備担当参事官室			自然環境整備担当参事官 大庭 一夫		
会計区分	一般会計	施策名	5-5 自然とのふれあいの推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	自然公園法第56条	関係する計 画、通知等	生物多様性国家戦略2010(平成22年3月16日閣議決定) 自然環境整備計画作成要領 自然環境整備交付金交付要綱及び同取扱要領					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	「自然と人間が共生する社会」の実現のため、都道府県等が国定公園等において実施する自然環境の保全や再生、自然とのふれあいを求める国民のニーズに対応した安全で快適な公園利用施設(登山道、避難小屋、木道、植生復元施設、山岳トイレ等)の整備を支援するもの。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国立公園に準ずる優れた自然の風景地である国定公園は、自然公園法に基づき、都道府県の申出により環境大臣が指定し、都道府県が公園事業(整備)を実施している。国定公園等における風景地の保護とその適正な利用のため、都道府県が実施する自然環境の保全や再生、自然とのふれあいを求める国民のニーズに対応した安全かつ適切な公園利用施設等の整備に対して、事業費の45%を限度に都道府県へ交付金を交付している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	1,400	1,358	1,200	678	718	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	△ 2	△ 119	57	180		
		計	1,398	1,239	1,257	858	718	
	執行額	1,075	967	1,025				
執行率(%)	76.90%	78.05%	81.54%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年	21年	22年	目標値 (年度)
	安全かつ適切な公園利用を推進する成果として、国定公園・長距離自然歩道利用者数を指標とする。ただし、自然公園等事業は自然環境の保全や再生も目的としていることから、利用者の多寡で成果を表すことは適当でなく、目標値は設定できない。		成果実績	千人	353,917	354,671	集計中	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年	21年	22年	23年度活動見込
	自然環境整備交付金の交付先(都道府県数)		活動実績 (当初見込み)	都道府県	37 (36)	40 (40)	38 (36)	— (34)
単位当たり コスト	2.7円/1人 「利用者一人あたりに係る本事業費」 (平成21年度実績)		算出根拠	本事業により、安全で快適な国定公園等の利用と自然資源の保護が保たれることで、国民が求める豊かな自然とのふれあいに応える場の提供に資することから、本事業費にかかる国定公園・長距離自然歩道利用者一人あたりのコストを計上したものの。				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	自然環境整備交付金	678	718					
	計	678	718					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>公園利用者の安全対策や自然環境への負荷軽減を図るため、各都道府県等からの国定公園等の整備事業に関するニーズは高く、利用促進や地域の活性化のみならず、公園利用者の自然保護への関心の高まりなど事業効果を得ることができた。</p> <p>また、国定公園における公園事業は、環境大臣が公園計画を指定し、地方公共団体と連携して相応の費用負担により重点的かつ計画的に推進すべき施策であり、コスト縮減や地球温暖化対策等に配慮しつつ、今後も引き続き本制度により支援に努めていく。</p> <p>平成23年度予算については、各都道府県から提出された要望額の85%程度の予算しか確保できず、平成24年度以降において、地方のニーズに応えていくことが求められるため、交付金予算額を増加させることが必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効果的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)

※A. 38都道府県交付先一覧

	(百万円)		(百万円)
1. 宮城県	103	20. 和歌山県	15
2. 長崎県	91	21. 岡山県	15
3. 大阪府	62	22. 宮崎県	14
4. 島根県	61	23. 東京都	13
5. 神奈川県	61	24. 奈良県	12
6. 広島県	58	25. 富山県	10
7. 愛知県	55	26. 青森県	9
8. 長野県	48	27. 山口県	9
9. 福岡県	45	28. 山梨県	8
10. 京都府	43	29. 静岡県	8
11. 千葉県	37	30. 沖縄県	7
12. 新潟県	34	31. 石川県	7
13. 福井県	31	32. 群馬県	6
14. 秋田県	31	33. 兵庫県	6
15. 佐賀県	29	34. 栃木県	5
16. 滋賀県	21	35. 三重県	4
17. 岩手県	21	36. 茨城県	4
18. 北海道	21	37. 徳島県	4
19. 山形県	16	38. 岐阜県	3

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.宮城県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	国定公園及び長距離自然歩道の整備に係る工事・設計・調査等	103			
計		103	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮城県	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	103		
2	長崎県	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	91		
3	大阪府	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	62		
4	島根県	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	61		
5	神奈川県	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	61		
6	広島県	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	58		
7	愛知県	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	55		
8	長野県	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	48		
9	福岡県	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	45		
10	京都府	国定公園事業等の工事の実施及び工事に係る調査・設計	43		